

報道関係各位



2023年11月7日

アクティオのスポーツスポンサード 「ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」を応援！！

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼COO:小沼直人、以下アクティオ)は、2023年11月10日(金)から11月14日(火)に横須賀市津久井浜海岸と三浦市三浦海岸で開催される「ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」の大会スポンサーとして今大会を応援します。



昨年の様子

ウインドサーフィンワールドカップは、毎年ヨーロッパを中心に約 10 カ国を転戦するワールドツアーでトッププロが世界一を争う大会です。

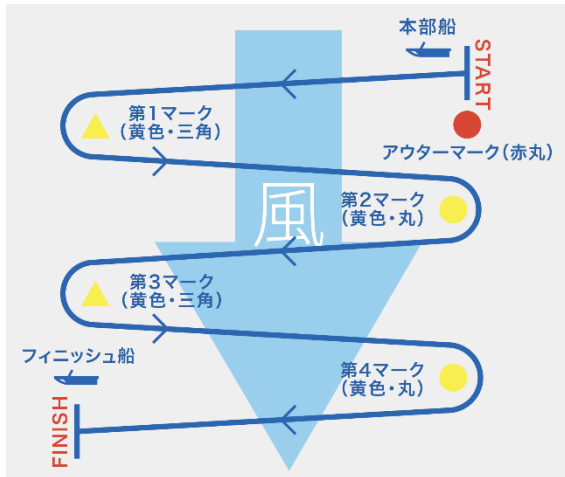
5回目となる横須賀・三浦大会では、スピード感あふれるレースとともに、SDGs への関心を持っていただく様々な取り組みを展開していきます。マリンスポーツ体験イベントや飲食ブース、海上観覧船の運航など、ウインドサーフィンを知っている人もこれからファンになる人も楽しめる大会となっています。

ウインドサーフィンは、スラローム、フリースタイル、ウェイブなどの種目がありますが、今大会は最もスピードの体感ができる「スラローム」で競います。

風上側のスタートラインから、風下側に設定されたいくつかのマークを回り、スピードを競いながらゴールを目指します。スピード感溢れるレース展開になり、特に最初のマーキングは大きく順位を左右するため、激しいバトルや駆け引きが展開されます。最も速くコースを走り抜けた者が一番であるという単純な判りやすさもスラロームの魅力です。

アクティオは、スポーツを通じ豊かな社会に貢献する活動を今後も続けてまいります。

■ルール



競技はトーナメント方式で進められ、標準的には1ヒート(グループ)8名で競い、上位4名が次のヒートへ勝ち上がります。

PWA(プロフェッショナルウインドサーファーズ協会)のレースでは、ランキング上位(あるいは前のレースの上位)選手がシードされ、2回戦、3回戦から出場するシステムが採用されています。

ファイナルレースはトーナメントを勝ち上がってきた(敗者復活戦を含む)8名で行われ、時間の許す限り第1レース、第2レースとトーナメント戦が繰り返されます。最終順位はその総合成績で決定します。

■昨年の様子



■開催概要

大会名称 : ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会

[英字大会名]Fly! ANA Windsurfing World Cup YOKOSUKA MIURA Japan

開催期間 : 2023年11月10日(金)~11月14日(火)=5日間=

会 場 : 津久井浜海岸~三浦海岸沖 住所/横須賀市津久井浜1丁目周辺

主 催 : ANAウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会実行委員会

【実行委員会構成メンバー】

全日本空輸株式会社、京浜急行電鉄株式会社、神奈川県、横須賀市、三浦市

特別協力 : 一般社団法人日本ウインドサーフィン協会(JWA)

公 認 : プロフェッショナルウインドサーファーズ協会(PWA)

開催内容 : (1)レース

世界トッププロ選手(約 100 名出場)によるスラロームレース

(2)大会期間中イベント(予定)

①海上観覧船の運航②マリンスポーツ体験会③飲食ブースほか

観覧者想定 : 100,000 人(来場4万人、オンライン視聴6万人【5日間延べ人数】)

関連リンク :【大会公式サイト】<http://windsurfing-wc.jp>

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノ

ウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX: 03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp